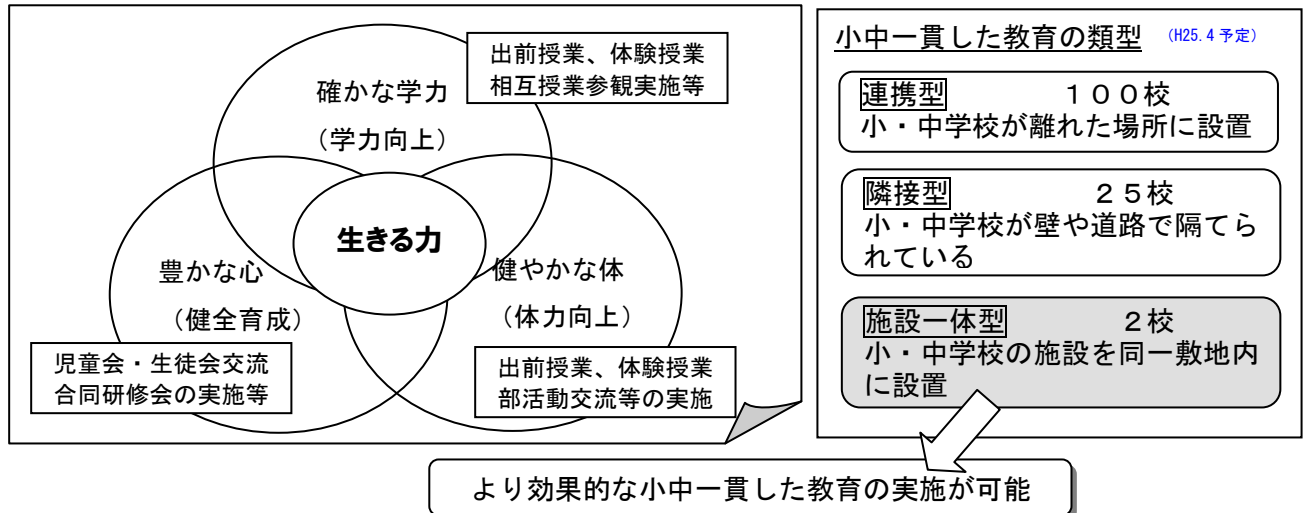


今宮中学校区における施設一体型小中一貫校の設置について

○ 大阪市では平成23年度より、全ての小・中学校で小中一貫した教育を実施しています。

- ・ 義務教育9年間を見通して、学習指導要領に準拠した教育課程を編成し、学力向上、体力向上、健全育成等を柱に小中一貫した教育に取り組んでいます。



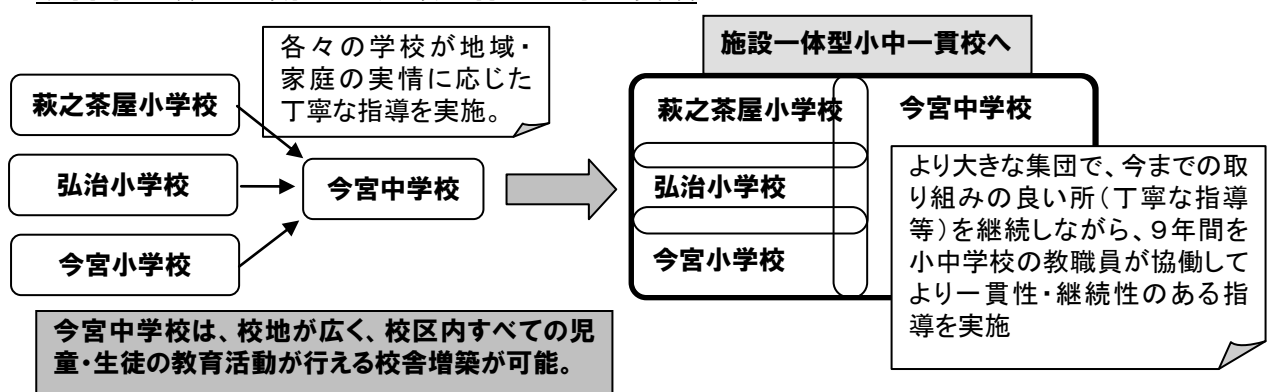
○ 「施設一体型小中一貫校」では、次のようなことに取り組むことができます。

- ・ 小学校から中学校までの9年間を、子どもたちの学習習慣や将来への意識、身体の発達段階等に応じて「前期4年間」「中期3年間」「後期2年間」に区分し教育活動を展開できます。
- ・ 特に小学校5年から中学校1年までの「中期」においては、中学校の教員が小学校の授業の一部を指導する「教科担任制」を導入するなど、小・中学校間をスムーズに接続できます。

	小 学 校						中 学 校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
指導区分	前 期				中 期		後 期		
指導体制	学級担任制				学級担任制・教科担任制 (段階的導入)		教科担任制		
確かな学力	基礎基本の習得・定着				基礎基本の定着・活用		基礎基本の 定着・応用		
健やかな体	様々な動きを身に付ける				多くの運動を体験する		スポーツに 親しむ		
豊かな心	自然や美しいものに感動する心や規範意識の育成				自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの段階的な養成		社会の一員として 自立した生活を営む力の育成		

○ 今宮中学校区に設置する施設一体型小中一貫校

〈本市で初めての3小1中による施設一体型小中一貫校〉



○ 期待できる今宮中学校区における小中一貫した教育

〈なにわっ子の育成〉

- ・ 地域の学校として「めざす子ども像」を共有し、学年に応じた取組みをすすめ、地域に主体的にかかわる子どもを育成します。

〈確かな学力の育成と進路指導〉

- ・ 基礎的・基本的学習の徹底や、放課後学習・補充学習の充実、教科担任制の導入(中期)による発展的学習などにより、9年間を通して小中学校の教職員が協働し、進路につながる確かな学力の向上を図っていきます。
- ・ 思考力、判断力、表現力などの基盤となる言語活動を、9年間徹底して、各教科等の学習過程に位置づけ、子どもの言語活動を充実します。
- ・ 早くから外国語活動を取り入れ、「英語を学ぶ」教育から「英語を使う」教育に義務教育 9 年間で展開することで、国際社会で活躍できる人材を育成します。

〈豊かな心とたくましいからだの育成〉

- ・ すべての教職員が9年間を通して一人一人の子どもたちに関わることで、安心して学校生活を送れるよう、指導面、支援面を充実します。
- ・ 中学生による本の読み聞かせや共同清掃などの異学年交流や縦割り活動により、学校内で豊かな人間関係を構築するとともに、自尊感情をはぐくみます。また、より大きな集団の中で自主性や協調性、社会性をはぐくみます。
- ・ 学校で学ぶ知識と実際の世の中との架け橋になる（地域から学ぶ）授業を通じて、目標を持って社会を生き抜く力、情報を選び自分の答えを導く力などをはぐくみます。
- ・ 5・6年生から中学校の部活動に参加することで、スポーツや文化活動に親しみ、専門性を高めます。

〈登下校の安全の確保〉

- ・ 子どもたちが安心して学校に通えるよう、登下校の安全を確保します。

○ 施設設備

- ・ 施設一体型小中一貫校に必要な校舎を新たに建築します。
- ・ 新たに子どもたちや地域との交流のためのスペースを整備します。
- ・ 施設一体型小中一貫校に必要な設備を整備します。
- ・ 全市の方針に基づき、普通教室に空調機を設置します。

○ 今後のスケジュール（予定）

- ・ 平成 24 年度：設計
- ・ 平成 25～26 年度：新築・改修工事
- ・ 平成 27 年度：開校